

▶中学生による模擬議会(9/9)



9月定例会

9月定例会を4日から20日までの会期で開きました。

市長から、17年度の歳入歳出決算など19議案が、議員から定数条例の改正、意見書6件の7議案が提出され、原案どおり可決しました。また、人権擁護委員候補者を推薦しました。

弥富市議会の議員の定数を定める条例の一部改正

弥富市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正するものです。

提案理由 (三浦議員)

現在の条例定数は16人であるが、このたびの合併に伴い人口が増え、4万4000人の市民の負託と信頼に応えるため、弥富市としての適切な議員定数を定めるものであり、次の一般選挙から16人を18人に改めるものである。

質疑

質疑(佐藤博議員)

- (1) 定数と歳費をセットで協議すべきではないか。
- (2) このたびの合併は編入合併であり対等合併ではないので、16人が基本で18人にするということは増員と解釈され、住民の意向を尊重しもつと時間をかけ慎重な審議が必要ではないか。
- (3) 本来なら議員提案の場合には議会運営委員会で審査をし、議会運営委員長の提案によって、議会運営委員が賛成者になって決めていくのが円満な議会運営であったと思うが、いかがか。

おもしろ内容

定例会の審議内容

- 議員定数条例…2～3
- 17年度決算…3～5
- 乳幼児等医療費支給条例一部改正…6
- 一般質問(11人) 7～17
- やとみフラッシュ…18

表紙の説明

10月4日に市内の各保育所で運動会が行われました。

来賓・祖父母と対戦した綱引きでは、お父さんの力を借りて1勝1敗の引き分けでした。



次の一般選挙から

議員定数を18人に改正

答弁(三浦議員)

(1) 歳費は報酬審議会に諮るものである。

(2) 編入合併でも増員している所はある。

(3) 規則に沿って行っている。

質疑(原沢議員)

あなたは全員協議会のとき「全会一致で通るよう話し合いをし、円満に決めていただきたい」と言っていたが、なぜきよう議案を提出し、質疑・採択までやらなければならぬのか。

答弁(三浦議員)

全員の賛成ということはいわゆる個人的に要望したことである。

討論

反対討論(渡邊議員)

市民の理解を得ながら協議し、時間をかけて決定すべき重要な事項、内容であり、私が一番問題にするのは、きようここで提案され、その日に質疑し採決ということに問題があると考え反対する。

賛成討論(佐藤良行議員)

公費で負担される選挙費用は19年度予算案で計上す

る必要があり、今議会で議員定数の改正を行い、より正確な予算案を作成することが必要である。

また、議員定数は市民の重大な関心事の一つであり、私たちは至る所で多くの意見を聞いた。それを集約すると、18人がベターと考えられ、賛成する。

反対討論(佐藤博議員)

こういう問題は議員の問題であると同時に、市民感情というのも非常に重要な問題であり、プロセスを市民に理解いただくことなく決めていくということでは、私は納得するわけにはいかないで反対する。

賛成討論(浅井議員)

この問題は、1年以上前に宿題をいただき、私は市民の皆さんにいろいろな所で投げかけてきている。

県内の類似市も参考にし、今回提案された18人は市民の理解を得られる適切な定数だと思いい賛成する。

反対討論(三宮議員)

本来なら議会運営委員会

で協議すべき問題を、抜き打ちで提案し、可決するやり方は黙視できない。

市民の意見に謙虚に耳を傾ける市政と議会になるために、こういうやり方はあつてはならないということとを警告し、反対する。

採決

賛成起立24人で可決

反対7人(三宮・原沢・安井・中山・杉浦・渡邊・佐藤博)

17年度一般会計歳入歳出決算認定

17年度の弥富町、十四山村の一般会計決算を認定するものです。

弥富町一般会計は、歳入103億9206万円、歳出97億5722万円です。

十四山村一般会計は、歳入24億9143万円、歳出22億7607万円です。

質疑

質疑(佐藤博議員)

八穂クリーンセンターの

ごみ焼却施設の入札談合問題で、管理者である川瀬市長から経過説明と今後の対応について答弁願いたい。

答弁(川瀬市長)

8月22日に海部地域の市町村長による管理者会を行い、賠償請求の方針を固めたので請求していきたい。

質疑(杉浦議員)

(1) 側溝清掃の申請とその実施割合は。

また、市の費用責任で清掃するべきではないか。

(2) 一人暮らしの高齢者を対象とした配食サービスを週5日にするべきでは。

(3) 児童館の利用者が減ってきている。何らかの工夫を。

答弁(横井開発部長)

(1) 申請が6170m、実施した延長が929m、約15%で、幹線道路の通行量の多い所や住宅付近で清掃が困難な所を実施した。

今後も側溝清掃は、地域の皆様の力をお借りし、市の事業と併せて進めていく。

答弁(服部民生部長)

(2) 財政状況の厳しい折で

あるが、目標数値に近づけるよう改善していきたい。
 (3) 児童館運営委員会、いろいろの内容を諮り協議を重ねている。

質疑(安井議員)

(1) 児童クラブのクラブ費を保育料のように応能負担にすべきではないか。
 (2) 旧弥富町の公園施設維持手数料および管理委託料が、16年度と比較して6割弱に減少している理由は。

(3) 三ツ又池事業の進捗状況と総事業費、完成時期について説明をいただきたい。

答弁(服部民生部長)
 (1) あくまでも受益者負担という考え方でいる。

答弁(横井開発部長)
 (2) 公園の業務内容の精査を行い、利用者に支障がないように見直しを行った結果である。

答弁(早川農政課長)
 (3) 現在80・2%の進捗で、総事業費は28億4983万円、20年度を完了年度としている。

質疑(原沢議員)

(1) 旧十四山村の財政見通しは、合併するしかないような過大な見通しであったと思うが、17年度決算が明らかになり、結果を受けてどう認識されたか。

(2) 障害者に該当する要介護認定基準は。また、内容の周知はどうしているか。

(3) 弥富市の学校給食は、どのような基準で食材の購入を行っているのか。

答弁(佐藤総務課長)

(1) 現在の社会経済情勢に変化のない限り、19年度末には財政調整基金は底をつき、財政運営が行き詰まってしまうと予想される。

答弁(佐野介護高齢課長)

(2) 要介護4と5で寝たきりの方を特別障害者と認定し、窓口の案内等で周知を図っている。

答弁(前野教育課長)

(3) 学校給食の食材は、地産地消を基本に購入し、納品の際、すべての品質確認をするとともに、生産地、製造所在地を必ず検収簿に



▲栄養教諭による食材の確認

記入し使用している。

質疑(三宮議員)

弥富市の本当の財政力と潜在的な能力をきちんと分析し、私どもが強く求めてきた総合計画と財政計画を一体化させる必要があると思うがいかがか。

答弁(加藤助役)

財政計画は絶えず見直しを進めなければならぬと認識しており、ご指摘の件については対応を取らせていただき進めていきたい。

討 論

反対討論(杉浦議員)

17年度決算は行政改革の実施計画が市政の実態と大

きく異なっているところから始められないところから始められており、反対する。

賛成討論(黒宮議員)

17年度は三位一体の改革による財源不足を、歳出削減によって住民に理解を求めた年である。

厳しい財政状況の中、老朽化、耐震性に劣る弥富中学校の移転改築工事に着手し、大藤児童館の整備等旧弥富町の5学区に児童館を整備され、その他の事業も着実にされてきている。

また、下水道事業は、生活基盤の環境整備に欠くべからざる事業であり、地域

また、下水道事業は、生活基盤の環境整備に欠くべからざる事業であり、地域

住民からも期待されている。よって17年度決算認定議案すべてに賛成する。

採 決

賛成起立25人で可決

反対5人(三宮・原沢・安井・杉浦・佐藤博)
 欠席1人

17年度弥富町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

弥富町国民健康保険特別会計は、歳入30億1304万円、歳出29億1658万円です。

質 疑

質疑(三宮議員)

国保税の滞納の問題で、血の通った納税相談ができる体制を取ることを求める。

答弁(佐野保険年金課長)

被保険者証の更新時において、納税相談を行い、分納や減免が適正に行えるように対応している。

採 決

全員賛成で可決

17年度弥富町、十四山村介護保険特別会計歳入歳出決算認定

弥富町介護保険特別会計は、歳入11億8960万円、歳出11億7722万円です。

十四山村介護保険特別会計は、保険事業勘定では歳入2億9531万円、歳出2億7510万円で、サービス事業勘定では歳入3790万円、歳出3501万円です。

質疑
質疑(安井議員)
 特定入所者介護サービス費補足給付の対象にならないデイサービスの食費を、市が利用者負担の軽減をすべきだと考えるがいかがか。

採決
 全員賛成で可決

現在のところ市の負担軽減策は考えていない。

17年度弥富町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定

弥富町公共下水道事業特別会計は、歳入6億9664万円、歳出6億5772万円です。

質疑
質疑(三宮議員)
 東海地震等の大災害の心配や、子孫の代まで重い借金を残さないためにも、青森県は下水道を可能な限り合併浄化槽等に置き換えることで、1000億円の事業費を節約したが、あらためて災害への備えや、深刻な財政事情の下で新たな選択肢に着目する必要があると思うがいかがか。

採決
 賛成起立26人で可決

反対討論(安井議員)
 公共下水道事業も農業集

18年度補正予算

落排水事業も計画時には両町村とも「そんなに財政は圧迫されない」と言っていたが、17年度に弥富町が不交付団体となり、18年度も新市が不交付団体とされ、今後も切り下げが予想され、財政的な前提が大きく損なわれた。よって反対する。

採決
 賛成起立26人で可決

反対4人(三宮・原沢・安井・杉浦)
 欠席1人

質疑(三宮議員)
 午後5時15分から6時までの休憩時間における窓口業務が4月から7月の間にどれだけあつたか報告していただきたい。

採決
 賛成起立26人で可決

反対4人(三宮・原沢・安井・杉浦)
 欠席1人

いう状況である。

討議
反対討論(原沢議員)

障害者自立支援法は10月から本格施行となるが、市は事業の種類、内容、利用料等を決定しなければならぬが、いまだに示されていない。よって反対する。

採決
賛成討論(水野議員)

厚生常任委員会に付託された主な補正予算は、障害者自立支援法の施行による必要額と予算の組み替えであり、どれも必要と考えるので賛成する。

採決
 賛成起立26人で可決

反対4人(三宮・原沢・安井・杉浦)
 欠席1人

国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険法の一部改正に伴うものです。

質疑
質疑(三宮議員)

国は国民健康保険の任意給付である埋葬料を、現行10万円から5万円に引き下げるよう働き掛けてきているが、引き下げるつもりか。

採決
 賛成起立26人で可決

財源との兼ね合いもあるが、現行のまま対処したいと考えている。

教育委員

任期満了に伴い、後任者の任命に同意しました。

服部 友久 氏

(70歳・鯛浦)

人権擁護委員

任期満了に伴い、後任の候補者を推薦しました。

佐藤 浩 氏

(63歳・前ヶ須)

意見書を提出

地方道路の整備促進と財源の確保についての意見書

(衆議院・参議院議長、総理・財務・国土交通・総務大臣に提出)

第8次定数改善計画の実施と学級規模の縮小を求める意見書

(総理・財務・文部科学・総務大臣に提出)

教育基本法の改正ではなく、理念の実現を求める意見書

(衆議院・参議院議長、総理・文部科学大臣に提出)

県の私学助成の増額と拡充に関する意見書

(愛知県知事に提出)

国の私学助成の増額と拡充に関する意見書

(総理・財務・文部科学・総務大臣に提出)

公共工事における建設労働者の適正な労働条件確保についての意見書

(衆議院・参議院議長、総理・厚生労働・国土交通・総務大臣に提出)

中学3年生まで

医療費の無料化を拡大

追加提案される!

乳幼児等医療費支給条例の一部改正

乳幼児等医療費の受給費資格者年齢を拡大するため条例の一部を改正するものです。

現在15歳までの年度末まで拡大しているのは飛鳥村だけで、1歳当たり1000万円程度と思う。

答弁(佐野保険年金課長)

質疑

質疑(佐藤博議員)

県内で15歳まで支給され

ている市町村はどれだけあるのか、また財源的にどれぐらい必要になるのか。

査に)

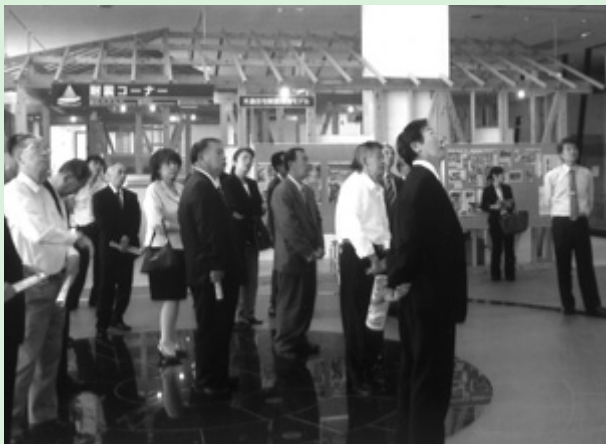
12月定例会の開催日程(予定)

12月1日(金)から18日(月)までの会期で開催予定です。

- 12月1日(金) 本会議(初日)
- 12月7日(木) 本会議(中日) 議案質疑
- 12月8日(金) 本会議(中日) 一般質問
- 12月13日(水) 建設経済委員会
厚生委員会
- 12月14日(木) 総務委員会
文教委員会
- 12月18日(月) 本会議(最終日) 討論・採決

・日程は変更になる場合もありますのでご了承ください。

先進地と市内を視察



9月27日と28日の2日間にわたり、清須市にある庄内川水防センター、静岡市にある静岡県地震防災センター等の行政視察を行いました。



8月10日、市内臨海部の川崎重工業(株)名古屋第一工場の視察を行いました。